

# 食物アレルギー症状が出現したときの対応

- ◆ 症状は、重症、中等症、軽症の順にチェックし、対応はより重い症状がある項目を優先する。
- ◆ 症状は急激に変化することがあるために、5分ごとに注意深く観察し、症状の変化に応じて対応を再検討する。

	重症	中等症	軽症
全身の症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ ぐったり</li> <li>□ 意識もうろう</li> <li>□ 尿や便を漏らす</li> <li>□ 脈が触れにくい或不規則</li> <li>□ 口唇や爪が青白い</li> </ul>		
呼吸器の症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 喉や胸が締め付けられる</li> <li>□ 声がかすれる</li> <li>□ 犬が吠えるような咳</li> <li>□ 息がしにくい</li> <li>□ 持続する強い咳込み</li> <li>□ ゼーゼーする呼吸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 数回の軽い咳</li> </ul>	
消化器の症状	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 持続する強い（我慢できない）腹痛</li> <li>□ 繰り返し吐き続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 中等度の腹痛</li> <li>□ 1～2回のおう吐</li> <li>□ 1～2回の下痢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 軽い腹痛（我慢できる）</li> <li>□ 吐き気</li> </ul>
目・口 鼻・顔の症状		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 顔全体の腫れ</li> <li>□ まぶたの腫れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 目のかゆみ、充血</li> <li>□ 口内の違和感、口唇の腫れ</li> <li>□ くしゃみ、鼻汁、鼻づまり</li> </ul>
皮膚の症状		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 強いかゆみ</li> <li>□ 全身に広がるじんま疹</li> <li>□ 全身が真っ赤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 軽度のかゆみ</li> <li>□ 数個のじんま疹</li> <li>□ 部分的な赤み</li> </ul>
	上記の症状が1つでもみられる場合	上記の症状が1つでもみられる場合	上記の症状が1つでもみられる場合
対応の仕方	<ol style="list-style-type: none"> <li>① エピペンを所持していれば直ちに使用する。</li> <li>② 内服薬を所持していて、可能ならば飲ませる。</li> <li>③ 救急車で緊急連絡先の医療機関に搬送する。</li> <li>④ 保護者に症状を説明し、救急車で医療機関に搬送することを伝える。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 内服薬を所持していれば飲ませる。</li> <li>② 保護者に症状を説明して迎えに来てもらい、かかりつけ医が緊急連絡先の医療機関を受診する。</li> <li>③ 保護者と連絡が取れない場合は、緊急連絡先の医療機関を受診する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 内服薬を所持していれば飲ませる。</li> <li>② 保護者に症状を説明して迎えに来てもらい、症状が30分以上持続するときは、かかりつけ医を受診する。</li> <li>③ 保護者と連絡が取れない場合は、緊急連絡先の医療機関を受診する。</li> </ol>